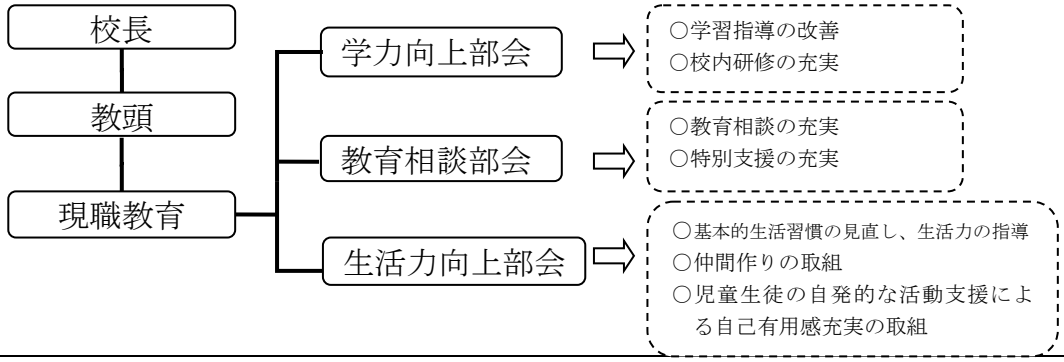
§２　研　究　主　題

学校名	九 度 山 町 立 河 根 小 中 学 校
研究主題	人・地域に学び、自己有用感をもち自己表現できる児童生徒の育成 ～個を大切にした教科指導、人との関わりを通して～
主題設定の理由	本校は豊かな自然に囲まれた山間に位置する小学校と中学校が隣接した小規模校である。児童生徒は落ち着いて学校生活を送っており、日々の学習や部活動に取り組んでいる。近年の少子化に伴い、校区内の児童生徒がいなくなり、校区外から本校のような小規模校で、少人数で静かな学習環境を希望して、転入してくる児童生徒が増えてきた。 不登校の経験や学習のつまずきを抱えた児童生徒が多く、近年は「人・地域に学び、個々の目標に向かおうとする児童生徒の育成」を主題に、学校で学ぶことは楽しいことだと感じてもらえるように、興味関心のあることを教材にした授業、できたという自信を持たせるためのスモールステップの授業など、個に合わせた学習指導方法を研究してきた。また児童生徒の特性を全職員で共通理解しながら、仲間作りを進めてきた。その結果、個人差はあるが勉強することの大切さや勉強がわかると嬉しいという気持ちが育ってきた。また様々な体験を通して児童生徒間の関係性や先生との信頼関係が形成され、「チーム河根」として仲間を大切にする気持ちが育ってきたと感じている。 それぞれ優しく素直な児童生徒達であり、少人数の中で学び直しをしたい、自分に合ったペースで学習したい、学校生活に慣れていきたいと思っている児童生徒達である。そのような児童生徒がここ数年増えているが、出身や学年も異なり、他者との交わりに苦手意識をもったまま転入・転校してくるため、児童生徒が安心して登校できるような取組を行うことが重要とある。そこで、児童生徒の実態に応じて学校行事や学級活動に取り組み、「みんな遊び」や全校で道徳などの授業をすることで交流機会を多く設定してきた。そして、今年度は児童生徒人数がさらに増え、メンバーも入れ替わったため、個々が安心して登校できるような学校づくり・仲間づくりが引き続き大切であると考える。 取組としては「みんな遊び」や運動会、文化祭などの様々な学校行事、総合的な学習の時間などの自主的な活動を通して、児童生徒の絆を深め、個性を認め合える関係性を築き、安心して学校へ登校できるようにしたいと思う。さらに、これらの活動において、地域の人と積極的に関わる機会を設け、将来、社会に出ていくために必要な社会性や自立に向かう力の育成を促したいと思う。 次に、個々の学習状況や課題が多様であるため、昨年度に引き続き「個を大切にした教科指導」を心がけ、個の特性を理解し配慮しながら、学ぶことが楽しいと思える授業づくりを研究したいと思う。そして、特別な支援の必要がある児童生徒については、個々の学習上の特性を見極め、学習支援の具体策を研究し、教職員同士で連携しながら、より効果的な指導をしたいと思う。 このようなことから今年度の主題を上記のように設定した。

研究内容	１確かな学力の向上 （１）「学びに向かう力」を育成するための授業内容や指導方法の研究 （２）個の特性に合わせた学習指導方法の研究 （３）思考力・判断力・表現力の育成のための授業方法の研究 （４）読書習慣をつけさせるための手立ての研究 （５）家庭学習を充実させるための手立ての研究 ２豊かな心の育成 （１）特別支援教育の効果的・具体的な授業方法の研究 （２）ＳＣ、ＳＳＷと連携した教育相談体制の充実 （３）豊かな心を育て、よりよい生き方を考えさせる道徳教育の研究 ３健康安全教育の推進 （１）生活リズムチェック表を使った基本的生活習慣の見直し （２）みんな遊びや自己有用感を感じられる特別活動、部活動を通しての体力向上と仲間づくりの研究
研究組織	
研究方法	○学力向上部会 ・全職員で、学びに向かう力を育成するための指導法や自分の考えを伝える力を育成するための指導法の研究の推進に努め、中間期検証、年度末検証を行い、取組の状況や効果を共有し、研究を進めていく。また、各学年で年１回校内研究授業を行う。 ・支援学級授業担当者会を行い、子どもの特性に合わせ、特別支援教育の視点を持った学習指導のあり方、具体的で効果的な教材を研究し、支援学級の教科担当者で定期的に集まり、情報交換、見直しを行う。 ・全国学力・学習状況調査や町標準学力検査、県学習到達度調査の結果、普段の授業の様子を通して個々の学習課題を明確にし、指導法の工夫・改善を図る。 ・家庭学習の手引き作成、自主勉の工夫の仕方、家庭学習の掲示、ビブリオバトル、毎週水曜日の「精神と時の時間」の取組により、家庭学習の充実、読書習慣をつける取組について研究し、実践する。 ○教育相談部会 ・多角的な視点を取り入れた支援会議を行う。 ・児童生徒の特性の共通認識や課題解決に向けての情報の交換を図る。 ・SC、SSW、関係機関等と連携した支援方法を探る。 ○生活力向上部会 ・一週間の生活リズムチェックを行い、基本的生活習慣の見直しと生涯にわたって必要な生活力の適切な指導をする。 ・毎週火曜日の昼休憩に「すこやか TIME」という児童生徒の自主性溢れる活動を行い、健康の維持につながる取り組みや、他者との関わりづくりにつながる特別活動を実施していく。 ・毎週木曜日昼休憩のみんな遊びを行い、児童生徒が主体的に考えて活動することを通して、自主性を育てる。